

# 朝日美術館

## 友の会たよりvol.5

10月27日

縄文むら公園の清掃作業を行いました。友の会のみなさん9名が協力し、百瀬館長も参加。たくさんの落葉や枝を片付けることができました。ありがとうございました。

## キレイになりました

11月5、6日

無料開放

朝日村文化祭に併せ美術館も両日無料開放となりました。

昨年よりも多くの方が来館し、にぎやかな美術館となりました。作家加藤先生夫妻も在館し、訪れた人たち創作活動の苦労や作品への思いなどさまざまな話をして交流をもちました。

文化祭会場へも足を運ばれ、友の会のみなさんが活躍される中、声を掛けられていました。中古本に温子先生はくぎ付けとなっていました。

10月30日

「加藤邦彦・温子展 自然と共に生きる」作家おふたりによるギャラリートークが行われました。制作活動への思いや技法など詳しく話を聞くことができました。会期中は県外からも多くの来館者が訪れました。

11月27日展覧会終了

## 聞き入りました

石版画について説明をする邦彦先生



## ロゲイニングのチェックポイントになる

11月3日

朝日村観光協会のイベント「ロゲイニング」のチェックポイントとして美術館が加わりました。

青空のもと参加者が楽しそうに朝日村を巡っていました。

朝日美術館へも足を運んでくれました。



みなさん本当に楽しそうでした！

サイクリングのチェックポイントは「播磨上人像」



以前にお知らせした『縄文アートを旅しよう』（求龍堂）が刊行されました。

帯には俳優井浦新さんがメッセージを寄せています。（かなりの縄文好きで有名です）

朝日村の“焼町式土器”や朝日美術館の紹介も読み応えがある内容となっています。

2F資料館へ来館される方々と話すと高確率でみなさん購入されていました。

県外から信州の縄文遺跡を巡っている方も多いです。そして必ず「（朝日村の縄文資料）凄くてびっくりしました！」とおっしゃいます。

縄文資料の数だけでなく、その文様の美しさや観られる角度など、楽しめる要素は山とあります。

来館されるさまざまな人とお話すことで、外から「朝日美術館」や朝日村の魅力を知ることができます。

『縄文アートを旅しよう』朝日美術館でも、図書館でも閲覧できます！

『縄文アートを旅しよう』

表彰式 12月10日



「とりぼっち」リョウやくんは1等賞



R4ベストセレクション 始まりました！

12月25日まで



決まりました！

11月25日

「朝日土偶おなまえ選手権」決選投票が行われ、村内外から来村にて票を投じられました。総数およそ500票！！もっとも票を集めた「おなまえ」は！！

わたしたちのおなまえは とりぼっち



くるっち。

この子たちが活躍できるようにアイデアを寄せてください！

さまざまな情報やお話をお聞かせください

mail : bijyutukan@go.tvm.ne.jp

編集/発行 朝日美術館

〒390-1104

長野県東筑摩郡朝日村古見1300

TEL : 0263-99-2359